

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

アクティブライフ保内

(ユニット名)

A棟

記入者(管理者)

氏名

岡田 奈美

評価完了日

平成 19 年 5 月 28 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3873700441		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	アクティブライフ保内		
所在地	八幡浜市保内町宮内 1 番耕地 3 2 4 番地 (電話) 0894-36-2103		
管理者	岡田 奈美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月13日	評価確定日	平成19年7月20日

【情報提供票より】 (平成19年4月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年8月9日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 15.7人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3)利用者の概要 (平成19年4月1日現在)			
利用者人数	16 名	男性 3 名	女性 13 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	7 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.4 歳	最低 78 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の保育園の園児たちの声をカセットテープに録音したものをいただいた。そのお礼に利用者の方が、手紙を書いて送られた。  
 お誕生日には、利用者、ご本人の希望するメニューでお祝いされている。調査訪問時、利用者の方が「職員さんの料理は、上手でおいしい。何時も全部食べている。」と話しておられた。  
 利用者の写真や個々の特徴等を記した書類を作成し、行方不明時等に活用できるようにされている。

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の外部評価時に計画されていたホーム便りを作成し、ご家族や運営推進会議時に配布されている。ご家族からいただいたブルーベリーの苗をご家族と一緒に育て、関係作りに努めておられる。</li> </ul>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価を職員個々で行い、全体で話し合い、まとめられた。</li> </ul>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席いただいた方達に事業所の印象等を聞かせていただいたり、地域のお年寄りのことや地域とのかかわりについて公民館長の方や児童民生委員の方より説明や意見をいただいた。</li> </ul>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族からの意見や要望は、職員に直接伝えられているようである。出していた意見や要望は、連絡ノートで全職員が確認することとなっている。事業所で開催されている納涼祭は、ご家族同士が交流する機会にもなっている。</li> </ul>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の納涼祭にはボランティアの方の協力を得ておられる。</li> </ul>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「家庭的な雰囲気の中でその人らしい生活を送る」とスタッフ間で周知しやすいが漠然としたもので独自のものとは言い難い。		前回の外部評価後、変更したいとの思いはあったが変更できていない。皆の意見を取り入れ作り上げていきたい。
			(外部評価)		
			利用者がその人らしく生活を送ることを支援するための理念が作られている。		今後、事業所と地域との関係をさらに深めていけるよう、事業所が目指すことを理念に採り入れていくよう計画を立てておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関に掲示し、スタッフ全員周知している。共に家事を行ったり野菜を収穫したり家庭的な雰囲気を目指し取り組んでいるが、理念が漠然としているため具体的な取り組みがわかりにくい。		
			(外部評価)		
			スタッフ会議等で話し合う際に理念に立ち戻り話し合いをされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族に説明し玄関に貼って来客者にもわかりやすく掲示しているが、周辺地域の人々への浸透はしていない。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所の方との交流はあいさつ程度であり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いは行えていない。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) この一年、地域の奉仕活動・祭りの参加は行いできるだけ地域行事に参加しようと少しずつ努力している。また、ホームへの行事にはカラオケ愛好会であったり保育園児に来ていただいたりした。徐々に交流の場を増やしているところである。 (外部評価) 夏の納涼祭にはボランティアの方の協力を得ておられる。保育園児の声をカセットテープに録音したものをいただいた。そのお礼に利用者の方が、手紙を書いて送られた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) スタッフは、今の利用者への支援で精一杯であり、地域へ向けての取り組みは行えていない。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回、改善計画を立てていないがスタッフ会で話し合い、管理者・スタッフは改善に向け取り組んでいる。また、サービスを見直すいい機会になっている。 (外部評価) 自己評価を職員個々で行い、全体で話し合い、まとめられた。前回の外部評価時に計画されていたホーム便りを作成し、ご家族の来訪時や運営推進会議時に見ていただいている。ご家族からいただいたブルーベリーの苗をご家族と一緒に育て、関係作りに努めておられる。		改善計画をきちんと立て具体的な取り組みを行っていく。  今後、評価結果を活かしていくために改善計画書を作成して、取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議での意見は活かせるよう努めている。 また、昨年度、会議参加者よりボランティア団体の紹介をいただき、行事への参加をしていただくことができた。		
			(外部評価) 出席いただいた方達に事業所の印象等を聞かせていただいたり、地域のお年寄りのことや地域とのかかわりについて公民館長の方や児童民生委員の方より説明や意見をいただいた。		さらに、今後、地域の協力への働きかけをすすめていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市の担当者が熱心な方で、市内のグループホームの連絡会議を持っていただいたり、疑問・不明な点などにも解決して下さったり連携のとれている方であると思われる。		
			(外部評価) 市の担当者の協力を得て、市内グループホーム連絡会議を行っておられ、介護保険のことや事業所での取り組みについて、話し合いを行っておられる。また、市へ要望を出す機会にもなっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者、一部スタッフは研修などへ参加し事業内容を把握している。実際に制度利用が必要と思われる方はいらっしゃらず支援はしていない。		スタッフ全員が勉強会などで内容を学ぶ機会をもうけたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 資料を回覧で回し、スタッフ会で全員で確認を行っているが、スタッフが十分な虐待に関する知識を持っていない。		勉強会を通し再度確認する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約には十分時間を費やし、後でトラブルにならないようしっかり説明している。疑問点もしっかり回答するようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の来所で聞いてもらったり、スタッフとは普段からコミュニケーションをとっている。不満・苦情等あった場合スタッフ会や申し送りで確認し話し合うようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、新聞発行で日常の様子を伝えるようにしている。変わったことがあれば電話連絡したり家族が来所時に日常の様子を伝えるよう心掛けている。 (外部評価) ホーム便りをご家族に送付し、事業所全体の取り組みをお伝えして、喜ばれている。体調の変化等については、ご家族に電話等で随時伝えておられる。遠隔地にお住いのご家族は、緊急時には、事業所に近い親戚に連絡することを依頼されている方もおられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に母体病院の苦情窓口を紹介したり、公的窓口を紹介したりしている。また、苦情ボックスも設置しているが、面会時、直接スタッフに言われることが多く、連絡ノートなどでスタッフ全員に伝え改善をはかるようにしている。 (外部評価) ご家族からの意見や要望は、職員に直接伝えられているようである。出していただいた意見や要望は、連絡ノートで全職員が確認することとなっている。事業所で開催されている納涼祭は、ご家族同士が交流する機会にもなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回のスタッフ会を設け、スタッフの意見や提案を話し合っている。比較的、自由な意見が聞かれ業務に活かせることは活用している。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要な時間帯には勤務調整したり対応できている。18年8月より利用者の時間に合わせ変則勤務を取り入れている。またスタッフは、利用者の状態の変化など急な勤務交代にも協力できている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 法人が大きく運営者は十分に把握できていない。異動や離職があった場合、馴染みのスタッフが声掛けなどにより少しずつ様子を見て配慮している。		運営者との会議等を通して管理者が要望を出していくようにする。
			(外部評価) 法人内での異動があり、利用者に影響が出るようなこともあるが、職員のかかわりで利用者へのダメージを最小限に抑えておられる。		職員の入れ替わり等について、ご本人ご家族等に伝えていくような取り組みも期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内での研修、グループホーム連絡協議会での研修は順次受けるようにしている。また、事務所に研修案内のパンフレットを置き、自由に参加希望を出せるようにしている。法人から研修費等は申請により出してもらっている。		
			(外部評価) 管理者は、職員の段階に応じた研修を受講できるよう推進しておられる。研修受講後に作成する記録は、全職員が確認するようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上                      運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>同じ法人内のグループホームとは、運営者が管理者同士の意見交換の場として会議を持っている。また、法人内の行事では法人の事業所の交流の場となっている。地域の事業所との交流は十分に行えていない。</p>		<p>近くのグループホームも積極的に交流を図ろうとしてくださっており、交流の機会を作るよう努力したい。</p>
			(外部評価)		
			<p>市内のグループホーム連絡会議で、施設長や管理者の方がサービスの向上について、他事業所と意見交換をされている。</p>		<p>今後は、グループホーム同士の研修会等を実施したいと考えておられた。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み                      運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>忘年会・新年会があったり、運営者はストレス軽減に向けた取組を行う努力をしている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み                      運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>法人の規模が大きく運営者が十分に各個人を把握しているようには思えない。                      法人内で資格取得や勤務態度で評価するシステムは作られている。</p>		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p>					
<p><b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係                      相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>利用者には管理者が一度必ず自宅及び病院等に会いに行くようにしており、少しでも関係を作るようにしている。</p>		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者が利用者と同じく家族にも事前前に会い、話をするようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 母体病院からグループホーム希望での入所が多く他のサービスをすすめることはほとんどない。より適するサービスがあれば、すすめたいと考えている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に家族や利用者に見学に来ていただくようしている。 (外部評価) ご本人に事業所の生活の様子を見ていただき、管理者が家庭訪問する等、ゆっくりとお話を聴くようにされている。入居間もない間は、ご本人とのかかわりを多く持つようにされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) スタッフは一緒に過ごす時間やコミュニケーションをとることを大切に考えている。しかし、まだスタッフ・利用者によって関係づくりが可能と思われる。 (外部評価) 調査訪問時、利用者の方が上手なきゅうりの作り方について職員にお話されていた。時に、利用者のご家族のお話をされ、職員はもらい泣きすることもある。		一緒に生活するという意識を大切にし、常に利用者とのコミュニケーションをとりながら過ごすよう心がける。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時、スタッフは家族に声掛けするよう心がけておりお互いに利用者の支援に関して相談を行っている。また、夏には家族も共に楽しめる行事を行っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人と家族との関係を大切にして支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) できる限り利用者が希望する場所や人には会えるよう心がけている。しかし、地元の遠い方には十分に支援できていない。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) スタッフは利用者の中に入り仲介役になれるよう努力している。レクリエーションを通し仲良くなるきっかけになるよう機会をもっている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用後、次のサービスにつなげるようにはしているが、その後の関係は継続できていない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者・家族から生活歴を聞いたり、個々の情報記録から個々の把握に努めている。また、表情などで本人の望みを把握するよう努力している。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>現在、職員が利用者一人ひとりと、ゆっくりかかわるような時間を作ることに、むつかしさがあるようである。</p>		<p>今後も、利用者のその人らしい暮らしを支援するためにも、ご本人の思いや意向の把握に努め、ケアに活かしていけることが期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人との会話から生活歴を聞いたりご家族から聞いたりサマリーなどを読み把握に努めている。しかし、病院を何箇所か変わられている方、家族が遠方の方など、断片的であったり十分な情報が得れない場合もある。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>健康状態・行動など記録に残し、毎日の申し送り、月1回のスタッフ会で十分把握できていると思われる。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>健康状態・行動など記録に残し、毎日の申し送り、月1回のスタッフ会で十分把握できていると思われる。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>健康状態・行動など記録に残し、毎日の申し送り、月1回のスタッフ会で十分把握できていると思われる。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>スタッフ会でスタッフ全員で話し合いケアプランを立てている。また、毎月、評価もスタッフ全員で行っている。しかし、家族の参加がなく家族の意向を取り入れたものを作るよう努力したい。</p>		<p>来所時か郵便かで家族の意向を聞く機会をもうけたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>アセスメントシート、介護記録等やご家族からの意見も踏まえて、スタッフ会で検討し、作成しておられる。</p>		<p>さらに今後、ご家族の意見が十分に反映できるような取り組みをすすめていきたいと考えておられた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			(外部評価)	長期6ヶ月、短期3ヶ月で見直しをしている。また、状態の変化においても見直しを行っている。新規プランと同じく家族の意向が十分に取り入れることができていない。	
			3か月に1回の見直しを行うようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			(外部評価)	日々の様子やケアプランに記した内容に関する事は、介護記録に残すように心掛け、朝・夕の申し送りですタッフ間で共有している。また、月1回のカンファレンスに活かすようにしている。	
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	要望に応じ出来る限りの対応はしていると思う。特に医療面に関しての支援は十分に出来ている。	
			車椅子対応のデイサービスの車を使用して、受診やご自宅を見に行く等されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティアや保育所に来所してもらったり、中学高校生との交流などを行い、少しずつ地域との関わりを増やしつつあるがまだ十分とはいえない。		今後、いろいろな機関に働きかけ地域の関係を深めていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 法人内の母体病院への希望が多く病院とは密に連絡を取れているが、他の事業所とは十分に連携をとれていない。希望があれば対応していくつもりである。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 4月から地域密着型サービスとなった事により包括支援センターとの交流は増えたが個々の支援については、まだまだ情報交換は必要である。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2日に一度の割合で主治医が訪問し様子を見にきて頂いている。歯科は往診で対応していただけたところがある。また、希望により他の病院を受診することもある。 (外部評価) 協力医療機関や母体病院での受診や往診を受けておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医だけでなく母体病院の認知症に詳しい医師とも連携がとれている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 月2回及び必要時看護師訪問あり、様子を報告し診ていただいている。また同じ敷地内のデイサービスの看護師にはよくアドバイスをもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 母体病院への入院が多く、よく連携がとれている。最低でも週に1回は管理者は入院した利用者の様子を見に行くようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 契約時に主治医及び母体病院の協力を得られることを説明し重症化した場合、家族、本人、主治医と十分に話し合った上で対応している。 (外部評価) 利用契約時に、重度化終末期の方針について、ご本人ご家族に対して説明をされている。必要時には母体病院に入院ができるようになっている。		さらに、ご本人ご家族の不安なことはないか、ということについても話し合う機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常勤の看護師がいないため、あらかじめ医療面での限界があることは家族、本人へ説明し、母体病院の支援を受けれるようにしている。 グループホーム内では緊急時の対応についてスタッフの勉強会を行っている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 記録や家族からの情報により、受け入れの際にはスタッフが情報を共有するように努めている。また、退室の際にも情報提供するよう心掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) やさしい静かな声で声掛けするよう心掛けているスタッフもいるが、言葉かけや対応においてはスタッフによってはばらつき見られ今後の課題である。</p> <p>(外部評価) 職員の言葉かけや介助はやさしく行われ、利用者の笑顔がうかがえ、笑い声も聞こえてきた。</p>		<p>勉強会や研修の参加により認知症の理解や接遇について学ぶ。 法人内のグループホームで勉強会を開催する予定である。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 声掛けで利用者が笑顔でいられるよう心掛けている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 人員不足や緊急時はどうしても職員のペースになってしまう。入居者一人一人とゆっくり関われない日もある。</p> <p>(外部評価) ご本人の希望等に沿うような支援を心がけておられる。</p>		<p>利用者の状態のこともあるだろうが、グループホームの特徴を活かして、個別の細やかな支援を実践できるような取り組みが期待される。利用者に関わる方達の協力を得て、利用者個々のその人らしい暮らしを支えていかれることが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) 月に一度美容師に来ていただき好きなヘアースタイ ル、毛染めなどしてもらっている。日中の着る服も選 んでもらいスカーフやヘアピンなど利用してオシャレ を楽しんでもらうようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員と一緒に準備や食事、片付けをして いる	(自己評価) 限られた利用者にはなってしまうが出来る方 には料理と一緒にしていただいている。また自ら食器を 洗って下さる方もいる。 (外部評価) お誕生日には利用者ご本人の希望するメニューでお祝 いされている。調査訪問時、利用者の方が「職員さん の料理は、上手でおいしく、何時も全部食べてい る。」と話しておられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒を日常的に楽しめる方はいらっしゃらないがそ の他については健康上問題のない限り楽しんでもら うようにしている。10時の水分補給では飲みたいもの の希望を聞いて対応している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) 身体状況にあわせ可能な限りオムツの使用を減らすよ うにしている。本人の訴えや間隔をみてトイレ誘導 し、介護記録に残し排尿リズムの把握をしいる。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) スタッフの人数や時間帯等、限定される部分はあるが可能な限り希望通り対応している。午後の時間を利用し、最低3日に一回は入っていただけるよう支援している。また、身体状況に応じ、リフト浴を使用し安全に入るよう努めている。		
			(外部評価) 現在は、午後に入浴を希望される方が多い。デイサービスの浴室は、窓から中庭が見えくつろげる。車椅子の利用者はリフト浴を利用されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 個人のペースに合わせ、本人の希望やスタッフの声掛けで自室で休んでもらっている。特に入浴後や外出後は声掛けを心掛けている。起床、就寝の時間も自由にしてもらっている。希望があれば主治医との連携もとれている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 新聞折りや洗濯物たたみなど、役割を見つけ率先してされる方や塗り絵、花の水やりなど、一緒に楽しんでされる方もいる。月1回のスタッフ会でカンファレンスを行い話し合っているが全利用者の興味、特技は活かしていない。		今後のカンファレンスで、支援をより考えていきたい。
			(外部評価) 野菜の収穫・洗濯物干し・洗濯物たたみ・貼り絵・ちぎり絵・習字を楽しまれ、介護度重度の方は、テレビを観ることを楽しみにされている方もおられた。ふるさと美化運動に、参加可能な利用者とともに協力をされた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で管理できる方は持っており、管理できない方、被害妄想のある方は家族と相談しグループホームで立て替えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日には、買い物や散歩、ドライブと気分転換に戸外へ出るようにしている。 また、庭の畑に野菜・花を植え、成長を楽しみに出られている方もいる。		
			(外部評価)		
			現在は、利用者の身体的なこともあり、外出する機会は少ないようである。中庭に出て野菜や花の世話をされている。		今後、ボランティアの協力を得ながら、外出する機会を多く作っていきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			自宅へのドライブやふるさと祭りなど利用者2,3人で出かけたりしている。月に一回程度、遠出することもある。また、要望によっては家族と相談し、家族と出かけられるよう支援することもある。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じ、電話をかけた手紙を書いてもらって職員が出している。また、公衆電話があり自由に電話をかけたり、かけてもらったりして、コミュニケーションがとれるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			来客者に対して、お茶、椅子を出し、各部屋でゆっくりしてもらい帰りも玄関先で見送りしている。スタッフは気軽に来所できる雰囲気を作れるような対応に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  スタッフは「具体的な行為」については理解できていない。特に気をつけておかないといけない方には見守りし、危険にならないよう注意している。		夜間、ベットの柵を使用していることがありもう一度皆で身体拘束の項目の確認をし安全な介護を提供する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  玄関の戸に開閉時、音が鳴るようにし、鍵はかけないようにしている。外に出ようとする人がいればスタッフが付き添い見守りしている。		
			(外部評価)  玄関・ウッドデッキへの出入りは自由となっている。利用者の写真や個々の特徴等を記した書類を作成し、行方不明時等に活用できるようにされていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  日中は共同スペースにおいてはスタッフが利用者の目の届く所に居るようにしている。部屋に戻られても、時折、様子を見に伺い声掛けするようにしている。夜間は2時間に1回の巡回で様子を把握している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  異食行為のある方のそばには物を置かない、足元不安定な方の足元の環境整備等対応している。注意の必要な物は保管場所があり、保管できている。入居者によって対応を考えている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  看護師の協力により、月1回の勉強会に取り組んでいる。転倒の危険のある方に対しては見守り、付き添いを行っている。		勉強会を継続し、繰り返し勉強する事でいざという時に対応できるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  月1回の勉強会で少しずつ身につけているが十分な訓練ができていないので十分に対応できない。		勉強会の継続に加え、消防の協力を得て救命救急の訓練を行う。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  年2回の避難訓練は行っているが全職員が参加しているわけではなく対応できるとは限らない。運営推進会議や部落総会などで地域に声掛けはしているものの十分でない。  (外部評価)  火災を想定した避難訓練を行っておられる。連絡網等も整備されていた。避難場所は駐車場と定めておられた。		地域への働きかけを増やしたい。  運営推進会議時等に事業所での取り組みを伝え、地域の方達にもさらに協力をいただけるよう、働きかけたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  転倒等リスクの高いものについては話し合う事が多いが低いものは話す事が少ない。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎日、バイタル測定し、食事量、排便のチェックをしている。異常があれば主治医に報告し、職員間でも朝・夕の申し送りでも情報を共有するようにしている。		日頃からコミュニケーションを大切にスタッフの観察力を身につけるようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) スタッフによって薬の用法、用量の理解には差が見られる。比較的定期薬に追加処方された薬については症状の変化の確認が来ている。</p>		<p>夜勤の時間や空いた時間に薬の説明などを確認するよう努める。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 水分補給をすすめているが、飲食物の工夫やラジオ体操以外の運動はあまりできていない。内服薬や浣腸に頼りがちなところがある。</p>		<p>食事の工夫や運動を取り入れる。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎食後、声掛け誘導し、自分でできない方には介助で行えている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事量、水分量など把握しており、一日の量などが少ない方は間食などで摂取、水分なども決まった時間を作り補給している。誤嚥防止のためトロミをつけたり、汁物の量を多めにするなど工夫している。 (外部評価) 食事制限のある方は、ご飯の量・調味料等に配慮されている。居室にペットボトルでお茶を用意されていた。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) マニュアルは作っている。普段から、キッチン関係、手すりなど衛生管理は気をつけている。流行時期には詳しく調べ、送りノートを利用して対策を講じたり、利用者・来客者にも注意を促すようにしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夜間の時間を利用しハイター消毒をしている。食材も毎日配達してもらっている。刺身など新鮮なものが必要などときには随時買いに行くようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は明るく清潔に心がけ、花などを飾り親しみやすく入りやすい玄関となるように工夫している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、居間などは四季折々の飾りを利用者の方と作り飾っている。光の強い所にはカーテンやブラインドで調整するよう心掛けている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関・居間には、あじさいの張り絵が飾られ、テーブルには生花が生けられ、めだかを飼育している。廊下・居間にはソファ、長椅子が設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間の中にも少し離れた場所にソファを配置し、一人や2、3人でもくつろげる場所を作っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			自宅よりテレビ、机、冷蔵庫など自由に持ち込まれている。また、部屋は本人や家族の写真など飾り居心地の良い場所になるよう心掛けている。		
			(外部評価)		
			ご家族の写真・テレビ・机・冷蔵庫等が持ち込まれている。居室にお好きなものが、たくさんある方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓を開けたり換気扇を使用してマメに換気を行っている。室温も冷暖房を使用し、調節をこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			3月に改修工事を行い、手すりも多く安全に歩行しやすくなっている。共同スペースの拡張もあり、車いすでもより自由に行き来しやすくなっている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			自分の部屋がわかるよう部屋前に個々の飾りやのれんをつけている。トイレもわかりやすいよう表示している。その他、洗濯物たたま、食事の手伝い、新聞折りどできる範囲の事をやって頂いている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			広いテラス、庭があるため、日向ぼっこや野菜・草花などを育て、利用者の方と一緒に水やりや収穫したりしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	普段のコミュニケーションの中から願いや意向を汲み取るよう心がけている。また、意思表示の少ない方などは家族から情報を得るようにしている。毎月のスタッフのカンファレンスで支援方法も共有できている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10時の水分補給及び昼食後の1時間は、スタッフもゆっくりと座り利用者とのコミュニケーションをとっている。また、特に午前中は、作品作りやレクリエーションを取り入れ、利用者とともに過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思表示をされない方については随時、スタッフが声掛けをしており、利用者主体で考えている。利用者が自室や共同スペースを自由に行き来する様子がよくみられ、それぞれのペースで生活できていると思われる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	花や野菜を見るのが好きな方、作品作り・作業の好きな方、体を動かすレクリエーションが好きな方、歌の好きな方、テレビの好きな方・・・とスタッフは、各利用者の笑顔の出る時を把握し、支援に活かしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ふるさと祭りやふるさと訪問等、スタッフと共に出かけたり、家族と相談し出かけてもらったりしているが、車椅子の方も多く、全利用者に対し、十分な支援はできていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	主治医が2,3日に一度は必ずホームを訪れ様子をみられている。また、毎日の様子はファクスで伝え、特変があると24時間電話で指示をもらっている。スタッフも絶えず様子観察に努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の中にはグループホームが自分の家と思われている方もおられ、安心して暮らしていると思われる。スタッフは家のような日々違った一日が送れるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には家族とゆっくり話しよう心がけている。要望や相談など、直接管理者・スタッフに話される方が多く、関係がまずまず保っている。また、その対応についてスタッフ全員で考えている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	家族や親戚の方の訪問がほとんどになっている。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ③あまり増えていない	運営推進会議での意見を参考にボランティアの協力を得たりもしたが、もともと閉鎖的イメージが強く、理解者や応援者が増えた感じはしない。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ②職員の2/3くらいが	法人がスタッフに対して行ったアンケートでも、やりがいを持って働いている人が多いとの結果であった。スタッフは明るく、伸び伸びと働いている様子がみられる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	利用者でもスタッフを思いやる言葉が聞かれ、一緒に生活しているという感じがある。不満が聞かれることも少なく満足している方が多いのではないかとと思われる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②家族等の2/3くらいが	熱発等、何かあれば、すぐ連絡をするよう心がけている。普段から、コミュニケーションをとり、何でも話せる関係を作っている。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

車椅子利用者が多いながらも天気がよく暖かい日には気分転換に外に出るよう心がけている。  
 広いテラスと中庭は普段から日向ぼっこや花を見ながらの食事等、活用している。  
 中庭では花や野菜を植え育ててきた。季節ごとにいろいろな野菜を収穫し食卓に並べる事ができている。  
 利用者の家族にも苗を持ってきていただいたり、木を植えてもらったり協力を得ている。  
 スタッフ間の連携もよくとれ笑いの多いホームである。  
 母体が病院であり、主治医の訪問も多く利用者・家族は安心して生活できるとと思われる。